

きょうたんて

vol.111

主な内容

市政トピックス

「京丹後市高齢者大学」を創設

まちのわだい

コウノトリのヒナ 5羽がすくすく

フォトトピックス

山登りで新緑を体感

ほか

2013
平成25年

6月号

5月24日発行

撮影場所：内山フナ林（大宮町）

目次
index

市政トピックス P2
京丹後市高齢者大学を創設、防衛省が6会場
で住民説明会開催 ほか

特集 長寿世界一 木村次郎右衛門さんへ
国内外から156通の祝福メッセージ P6

市政guide P8
「中東交流プロジェクト in 京丹後」開催に向けて ほか

フォトグラフ
第12回 丹後「農業・農村」写真
コンクール P10

まちのわだい P12
子宝願い「のぼり立て」/峰山高生が復興支
援で書籍を送付 ほか

フォトトピックス 山登りで新緑を体感 P14

—The Healthy Life—
地域医療の現場から P15

みんなの広場 P16

京たんごスポーツ P18

生命の絆 P19

情報ファイル P20
市の文化財/ジオトピックス/和気泰来/宮川
優のたんご優遊見聞録/図書館だより ほか

京丹後人 ③⑧ P24
花ネット丹後会長 吉井 久子 さん

今月の「きょうたんごで“いいね”」
内山(大宮町)のブナ林

“山ガール”の入江和子さん(下写真)
に撮影協力をお願いしました。



入江和子さん(弥栄町)
大宮町のブナ林
に行ったのは、今回
が3回目です。新緑
の木々から漏れてく
る陽光は、とっても
きれい!天候もよく
て、空気もおいしく
て、最高に気持ち良
かったです(∩o∩)。次はどの山に登ろ
うかなあ。(14頁に関連記事)

今月号から、表紙写真をリニューアル。
「きょうたんごで“いいね”」がスタートしま
した。京丹後市の中には、「いいね」と思
う場所や人、場面がたくさんあります。そんな
地域の魅力を、表紙の写真でお伝えします。

教育

「京丹後市高齢者大学」を創設
学んだ知識や技術を地域へ

生涯現役のまちづくりを推進する本市では、これまで旧町単位で
取り組みの異なっていた高齢者大学を今年度から生涯学習として統
一化を図り、新たに「京丹後市高齢者大学」を創設しました。

高齢者大学は、旧町ごと
に計6つの学園を設置し、一
般講座と趣味講座の二本柱
で構成しています。4月25
日、久美浜学園の開講を皮
切りに、それぞれの町でス
タートしました。

各学園の開講式では、「生
涯現役のまちづくり」と題
して、中山市長が講演を行

いました。

一般講座では、歴史や健康
などの講演と研修旅行など
を各学園で年6回実施しま
す。趣味講座では、料理や
絵手紙、パソコンなど29種
の講座を受講でき、市内
全域の講座を学べることに
できます。

同大学は、高齢者の仲間

や生きがい、健康づくりを
推進するとともに、学んだ
知識や技術を地域に生かし
てもらうことで、人やまちづ
くりにつなげることを狙いと
しています。

※広報きょうたんごおしらせ版5
月24日発行)に募集記事を掲載。

☎ 699・0630
☎ 699・0630



高齢者大学「網野学園」で古
典文学を学ぶ受講生たち(上)
「峰山学園」で、講師の山本
先生から民謡を習う受講生た
ち(右)



行財政改革

「公共施設見直し計画」を策定

163施設を民間や地域などに譲渡

市はこのほど、昨年9月に策定した「公共施設見直し方針」に基づき、
市有施設の管理運営方法について、今後の見直しの方向性などを示す「公
共施設見直し計画」を策定しました。

本市の財政状況は、合併特
例による普通交付税の加算額
が平成27年度から段階的に縮
減され、歳入が大幅に減少す
る一方で、さまざまな課題に対

応するための事業を実施して
いかなければならないことか
ら、今後も厳しい状況が続く
ものと見込んでいます。

限られた財源の中で、社会
情勢の変化や市民ニ
ーズに対応しながら、効

率的・効果的な施設運営を行
うには、既存施設の廃止や統
合、移譲などを視野に入れた、
公共施設の抜本的な見直しを
行う必要があります。昨年9月、「公
共施設見直し方針」を策定。
この方針に基づいて、このほど

「公共施設見直し計画」を策定
しました。

この計画は、「市が引き続き
設置し、サービスを提供する
必要があるか」、「効率的・効
果的な管理運営方法となつて
いるか」といった観点と、施設
の設置意義や機能、利用状況
の適正化といった6つの視点か
ら、個々の施設について、「廃止」
「統合」「移譲」「用途変更」「機
能移転」「管理形態の見直し」
「現状維持」に区分し、平成31
年度までに行う見直しの方向
性や実施年度などを示してい

ます。

今後、広く市民の皆さんの
意見を聞きながら、計画に示
した実施年度を目標に、各施
設の見直しを行っていきま
す。

また、市の施設として存続
する施設の使用料や減免規定
など、受益者負担の適正化に
ついては、引き続き見直しを行
います。

※「公共施設見直し計画」は、
市ホームページ・市政・情報公
開「行財政改革」のページで
ご覧いただけます。

☎ 699・0050
☎ 699・0050

施設分類ごとの見直しの方向性 (施設数)

施設分類	施設数	見直しの方向性						
		廃止	統合	移譲	用途変更	機能移転	管理形態の見直し	現状維持
1.レクリエーション・スポーツ施設	25	1	0	0	3	0	13	8
2.産業振興施設	119	9	0	57	0	0	3	50
3.集会施設	107	2	0	93	0	0	1	11
4.文教施設	24	1	3	5	0	2	3	10
5.医療・社会福祉施設	26	0	0	8	2	2	0	14
6.交通関連施設	31	1	0	0	1	0	0	29
7.その他施設	2	0	0	0	0	0	0	2
合計	334	14	3	163	6	4	20	124

<用語説明>
「廃止」… 当該施設での行政サービスの提供を廃止するもの
「統合」… 公共施設間で類似の行政サービスを提供している施設を統合するもの
「移譲」… 当該施設を民間や地域などへ譲渡(有償または無償)するもの
「用途変更」… 当該施設の設置目的を他の目的に変更するもの
「機能移転」… 当該施設の機能を他の施設に移すもの
「管理形態の見直し」… 運営に係る事務の委託や指定管理者制度の導入など、より効率的・効果的な管理運営方法に見直すもの
「現状維持」… 現状の管理形態で引き続き行政サービスを提供するもの

福祉

「京丹後市障害者団体連絡協議会」発足
交流や社会参加促進に期待

市内6つの障害者団体が4
月24日、「京丹後市障害者団
体連絡協議会」を設立。障害



京丹後市役所で行われた障害者団体連
絡協議会設立総会の様子

の種別を超えた交流機会の創
出や活動の活性化などにつな
げることがねらい。また、ひ
とつにまとまることで、要望
や情報の発信力の強化も期待
されています。

市では、障害のある人もな
い人も地域の中で多様な交流
機会が生まれ、障害への理解
を深めながら、共に支え合い、
助け合う「共生社会」の推進
の一助となることを望んでい
ます。

総会では、規約の制定のほ
か、活動状況や抱えている課
題などについて報告し合い、
活動方針が協議されました。

【加盟団体】
①市身体障害者団体連合会
②市手をつなぐ親の会連絡協
議会③府視覚障害者協会京
丹後支部④府聴覚障害者協
会京丹後支部⑤北丹後精神
障害者家族会⑥NPO法人
丹後の自閉症児を育てる会

防災

Xバンド・レーダー配備に関する質問について防衛省が回答 防衛省、6会場で住民説明会開催

航空自衛隊経ヶ岬分屯基地へのXバンド・レーダー配備計画に関して、市は4月9日、25項目の質問書を防衛省へ提出しました。同月24日に同省から質問書に対する回答書を受け取り、この回答について同省が4月24～26日に地元説明会、27日および5月9、10日に住民説明会を行いました。

4月9日、航空自衛隊経ヶ岬分屯基地へのXバンド・レーダー配備計画に関して、電波自体の健康への影響など25項目について防衛省近畿中部防衛局へ質問書を出しました。この質問書に対して24日、同局から回答書を受け取りました。同時に、この回答書の内容を詳しく説明するため、防衛省による住民説明会が開催されました。4月24日に尾和区(丹後町)、25日に袖志区(同町)、26日に谷内区・上山区(同町)で地元を対象とした説明会を実施。また27日に宇川小学校で宇川地域を対象とした説明会、5月9日に丹後地域公民館、10日に峰山小学校で全地域を対象とした住民説明会を実施しました。



防衛省による地元説明会の様子(4月24日、尾和会館・丹後町で)

回答書についての説明と質疑が繰り返されましたが、その中で依然として残っている疑問を集約し、市は5月16日、電波自体の健康への影響など4分野10項目の再質問書を近畿中部防衛局へ提出しました(内容は市ホームページで公開)

説明された。常識的にその声が100分先で聞こえるわけがないと思うが、本当に騒音は聞こえないか。また、騒音によって夜眠れない場合などはしっかりと対応してくれるのか。
—音は完全に消えることはありませんが、防音対策には発生源対策、運用方法、住宅サッシの設置があります。私達は今発生源対策を行おうとしています。いずれにしても国の基準の中でしっかりと対応させていただきますか。

近い形で、地元・市・国交省・防衛省が一緒になって間人まで5分で行けるような道を実現させていきたい。命に関わることなので。
—同じ政府機関である国交省、市と連携を取りながら、防衛省として一番の支援をさせていただきますか。

レーダーには前方立入禁止措置や熱作用があるという反面、自動車の速度測定と同じような周波数帯域のため安全と思えるような表現もあるが、本当に安全なのか。もしレーダーの照射を受けた時にどうなるのか具体的な説明をいただきたい。
—速度違反で使われる電波等と比較しながら安全性を検証していますので、今後、さらに安全性をご説明させていただきます。

尾 和用水はいつも不足しているが、1日に50トの水を宇川から取るとなると特に渇水期には本当に不足してしまう。また自衛隊基地の排水場の辺りはサエがないと聞いているので、排水についても心配。
—宇川の現状を全て踏まえ、自衛隊のこともあわせて今後どういう配分対応をしていけばよいのか、市や地元の皆さんの力もお借りしながら検討していきたいと思えます。

地 域に米軍基地を抱えるというのには、安心安全に暮らせることにならない。丹後に米国の法律に基づく土地が出来るということ。もう一度改めて丹後に米軍基地を作ることにについてよく考えていただきたい。
—より安全を期すために色々なところでご説明させていただきましたが、具体的な施策として、米軍教育を徹底し、地元の自治会も含めた関係機関による連絡会を設け、そして住民相談窓口を設置します。なおかつ地元警察にもお願いし、雪道などでの自動車運転講習の実施や、防衛省自ら巡回パトロールを行うなど、丁寧に個々に対応させていただきます。

騒音対策によって減少する発電機などの音について、65db、70dbの音は大きな声で喋っている程度と

危険が生じた場合、一刻も早く移動したいが、ここからだとはアピンカーブが非常に多くなかなか走れない。丹後縦貫林道に接続させるなど、もっと大きな道路で直線に

防災

迅速な避難で原発被害を最小限に 市地域防災計画(原子力災害対策編)および市原子力災害住民避難計画を策定

安心安全のまちづくりを進める本市は、東日本大震災による原発事故の経験を踏まえ、万一の事故発生に備えて、その対策について検討してきました。去る4月22日開催の市防災会議において、新たに原子力災害の対策と原子力災害事故における住民避難計画を策定しました。

て、市や府、指定地方行政機関などの防災関係機関がとるべき措置を定め、総合的かつ計画的な原子力防災事務または業務の遂行のために策定しました。

新たな「防災対策を重点的に充実すべき地域」であるPAZ(原子力発電所から半径5kmの範囲)やUPZ(原子力発電所から

ら半径30kmの範囲)に係らないものの、福島第一原子力発電所の事故の例からはUPZと同等の対策を定める計画が必要と考え、主に次の内容を計画に示し、避難体制などの整備を行うこととしています。
【内容】
◇避難対策やブルーム通過時の被ばくを避けるための防護措置に相当する措置を実施する地域として、市内の全行政区を対象に、高浜発電所および大飯発電所からの距離を表示◇状況に

応じて住民の避難が迅速に行えるよう、行政区ごとに緊急避難時の集合場所をあらかじめ検討すること◇万一のために情報収集・連絡体制の整備◇緊急事態における応急体制の整備◇避難収容活動体制の整備として「原子力災害住民避難計画」の作成◇緊急輸送活動体制の整備◇住民などへの的確な情報伝達体制の整備
図総務課 ☎69・0140



この計画は、災害対策基本法および原子力災害対策特別措置法に準じ、関西電力株式会社高浜発電所および大飯発電所の原子炉の運転や事業所外運搬により放射性物質または放射線が異常な水準で事業所外(運搬の場合は輸送容器外)へ放出されることによる原子力災害の発生および拡大を防止、原子力災害が発生した場合の復旧策について

「京丹後市地域防災計画(原子力災害対策編)」および「京丹後市原子力災害住民避難計画」は、東北地方太平洋沖地震の津波などにより被災した、東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故における事態、対応と原子力規制委員会が示した「防災対策を重点的に充実すべき地域」に関する考え方を踏まえ、住民などの被ばく線量を最小限に抑え、住民などの生命、身体および財産を原子力災害から保護することを目的としています。

本市は、高浜発電所から30～60kmの範囲、大飯発電所から40～70kmの範囲に位置することから、

美術・災害・戦時中の暮らしなどを紹介 文化財 京丹後市史資料編4冊発刊

市には、先人たちの残した多数の文化財があります。市教育委員会では、これらの資料を「京丹後市史」としてまとめる市史編さん事業を平成17年度から10年計画で進めています。その一環として、資料編4冊を刊行しました。各冊とも市内の書店で購入できます。



◇『京丹後市の美術』(A4版・261頁、4300円)は、重要文化財・府、市の指定文化財に指定されている彫刻・絵画・工芸品など159件の写真と解説を掲載しています。◇『京丹後市の災害』(A4版・277頁、3400円)は、市の自然環境を地形や地質など4つに分類して解説。また、北丹後地震(昭和2年)や豪雪(同38年)の大災害などを詳しく解説しています。◇『資料集 総動員体制と村』(A5版・402頁、2500円)は、昭和12年から21年にかけて木津村役場(網野町木津)で作成および受け付けた文書330件を掲載。軍事援護、防空演習、復員などに関する文書が紹介され、戦時中の暮らしの様子が伺えます。◇『丹後国御檀家帳』(A5版・207頁、1800円)は、稲葉家(久美浜町土居)に伝わった「丹後国御檀家帳」の写真・翻刻文と解説を掲載。丹後における伊勢信仰の広まりや武士の勢力図など16世紀の丹後の様相を知ることができます。

図文化財保護課 ☎69-0640

図総務課 ☎69・0140

図総務課 ☎69・0140



木村さんの“笑顔”“元気な姿”に勇気づけられた方も多く、たくさんの「ありがとう」の声が寄せられました。そこで、過去に取材したワンシーンをピックアップしてお届けします!!

- 1 今年4月19日、木村さんの誕生日に中山市長が木村さん宅を訪問。中山市長の「おめでとうございます」の呼びかけに笑顔を見せる木村さん
- 2 昨年の誕生日にお祝いに駆け付けた玄孫(やしやご)の小田彰一ちゃんを抱っこしてほほむ木村さん
- 3 昨年9月、敬老の日に合わせて、中山市長が木村さん宅を訪問。宇川小児童の長寿を祝うメッセージを綴った寄せ書きを披露した
- 4 昨年10月、英国・ギネスワールドレコーズ社のクレイグ・グレンディ編集長(右)から2度目となる男性長寿世界一の認定証を受け取り笑顔を見せる木村さん



▲ギネス社から、4月19日付けて交付された認定証(左から史上最長寿の男性、存命中の最長寿(男女共通)、存命中の最長寿(男性))



▶府からの長寿祝い品
昨年、誕生日のお祝いに駆け付けた玄孫(やしやご)の小田彰一ちゃんを抱っこしている様子を西陣織で再現したものです。額縁入り

「日本の誇り」「勇気をありがとう」など
温かいメッセージが寄せられました (一部抜粋)

- ▲木村さんは長寿国家日本の象徴であり誇りであると思います。
- ▲木村さんの明るさでこちらの気持ちも明るくなります。こちらこそサンキューベリーマッチです。
- ▲水・空気・食べ物・そして人、京丹後の素晴らしい環境が生命の源となっていることと確信いたします。木村様の「サンキューベリーマッチ」を聞きますと、自然と笑顔になります。
- ▲「木村さん賀寿を重ねて世界一 日本の誇り世界の宝」
- ▲「一生は、たった一日の延長なり」この言葉をいただいて、あやかりたいとおもいます。
- ▲木村様の長寿を祝し、丹後に生を受けたことにも誇りを持ち、両親への感謝の気持ちも忘れず、これからも郷土を愛し、限りある生命を大切に、大事にして生きていきたいと思っております。
- ▲とってお歳には見えないあの笑顔に、少しでもあやかりたく、何事にも感謝を忘れずに楽しく一日一日を過ごしていきたいと切に願っております。
- ▲また、世界中に笑顔を見せてください。
- ▲To Mr kimura. Congratulations are sent you from Enfield in England for your 116th birthday wow! I hope you will have a fantastic day with all your family. you are FAMOUS (木村さんへ 英国のエンフィールドから貴方の116歳のお誕生日にご祝福を申し上げます。ご家族とはすばらしい日をお過ごしください。貴方は有名ですよ)



安倍総理から届いたメッセージ

木村次郎右衛門さん、116歳のお誕生日、誠にありがとうございます。そして、ギネス世界記録への認定、心より、祝福させていただきます。「史上最長寿の男性」と「長寿世界一」の二冠。いずれも「スゴイ」としか言いようがありません。私は、58歳です。木村さんのちょうど半分です。まだまだ若造です。木村さんたちのご努力によって、日本は、幾多の激動を乗り越え、今日の繁栄が築かれました。木村さんのお元気な姿は、日本の自信と誇り、そのものです。木村さんは、国会中継をテレビで見るのが好きだ、と伺いました。木村さんが見てくださっているかと思うと、毎日のように国会答弁に駆り出される私も、背筋が伸びるような思いで、頑張ることが出来ます。木村さんの豊饒とした姿に、私だけでなく、日本全体が元気をもらっています。いや、ギネス世界記録なんですから、世界全体ですね。木村さん。どうか、これかも、お元気で、お過ごしください。



木村次郎右衛門さん、116歳のお誕生日、誠にありがとうございます。そして、ギネス世界記録への認定、心より、祝福させていただきます。「史上最長寿の男性」と「長寿世界一」の二冠。いずれも「スゴイ」としか言いようがありません。私は、58歳です。木村さんのちょうど半分です。まだまだ若造です。木村さんたちのご努力によって、日本は、幾多の激動を乗り越え、今日の繁栄が築かれました。木村さんのお元気な姿は、日本の自信と誇り、そのものです。木村さんは、国会中継をテレビで見るのが好きだ、と伺いました。木村さんが見てくださっているかと思うと、毎日のように国会答弁に駆り出される私も、背筋が伸びるような思いで、頑張ることが出来ます。木村さんの豊饒とした姿に、私だけでなく、日本全体が元気をもらっています。いや、ギネス世界記録なんですから、世界全体ですね。木村さん。どうか、これかも、お元気で、お過ごしください。

メッセージ集計結果

種類	集計
手紙	41
ファクシミリ	1
はがき	72
Eメール	28
facebook	14
計	156

昨年12月、ギネス記録の認定による「長寿世界一」および「男性史上最長寿」となられた木村次郎右衛門さんへのお祝いメッセージを募集したところ、2月末で国内外から156通(市内27通、市外129通)のメッセージが寄せられました。さらに、116歳の誕生日には、

安倍総理からも長寿をお祝いするメッセージが届きました。皆さんから預かったメッセージは先月19日、木村さんの誕生日に自宅を訪問し、長寿のお祝い品とともに直接届きました。訪問の様子は、テレビや新聞、インターネットなどで多数取り上げられ、元気が湧いてきた方も

多いのでは。まさに郷土の誇り、長寿の象徴である木村さん。先月号で、お誕生日をお迎えになったことを速報としてお伝えしましたが、今月号では、特集として、木村さんの「笑顔」とともに紹介します。

▼市からの長寿祝い品
徐福(写真右)が、秦の始皇帝の時代に、東方へ不老不死の薬を求めた命を受け、丹後の新井崎(伊根町)に漂着したという伝説に基づいて作成された丹後ちりめん製タペストリー。
タペストリーには、「ますますお健やかに ますますのご長寿を市民こぞって祈念しています。」とメッセージが綴られています



特集
長寿世界一 木村次郎右衛門さんへ
国内外から156通の祝福メッセージ

ますますお元気で

不法投棄は“犯罪”です

— 懲役5年以下または罰金1千万円以下 —

農道や山林、道路脇など、人目に付かない場所へのごみの不法投棄が後を絶ちません。不法投棄は景観を損ねるだけでなく、水質や土壌の汚染など環境へも悪影響を与えます。野山にごみを捨てる行為は、自分の責任を他人に押し付ける「卑劣で身勝手な行為」です。

大切な郷土の資源を次の世代につないでいくためにも「不法投棄」は絶対にやめましょう!!!

市内各所で後を絶たない不法投棄



弥栄町等楽寺の山中 (昨年5月)

建築廃材、足場板、バッテリー、植木鉢など、軽トラック1台分が投棄されています。

美しい森は、先人から次世代への共有の財産です。自分のことだけしか考えない、目の前のこと以外には想像力が働かない、それが不法投棄です。



峰山町二箇の水路 (今年4月)

今年の4月1日、水路の中に、大量の発泡スチロールが捨てられ、地区の皆さんによって回収されました。

発泡スチロールは分解されずに、川から田んぼにも入り、最後は海へ流れていきます。

破片を生き物が体内に取り込めば、生態系への悪影響も考えられます。

タイヤが36本。買って、使って、いらなくなったら、人目につかない場所へ捨てる。何とも身勝手に恥じるべき行為です。

平成24年度は、不法投棄されたタイヤ385本の処分費用に、約18万円の公費が使われました。



網野町島津の離湖付近 (昨年8月)

ごみは20kg当たり(100円)の手数料で
ごみ処理施設へ持ち込みできます

過去に、わずか数百円のごみ処理手数料を借しんで、数十万円の罰金を支払った人もいます。



不法投棄をさせない環境づくりを!

「自分達の地域には、不法投棄をさせない!」「地域の目が監視しているぞ!」という雰囲気をつくるのが重要です。以下の対策を講じましょう!

- ・可能な場所には、侵入防止のロープを張る。
- ・草刈り、花植えなどの環境整備を進める。
- ・怪しい車を見たら、ナンバーを控える。
- ・捨てる行為を発見したら、すぐ警察へ通報する。

市民課
☎69・0210

プロジェクトの狙い

このプロジェクトは、紛争で大切な家族を亡くされたイスラエルとパレスチナの双方の子どもたちを本市に招待し、同世代の日本の子どもたち



「中東和平プロジェクトin綾部」(平成22年度開催)で書道を通じて交流するイスラエルとパレスチナの子どもたち

今年8月、国際交流事業の一環として「中東国際交流プロジェクトin京丹後」(同実行委員会主催)が開催されます。このコーナーでは、同プロジェクトの開催に当たり、事業の目的や中東紛争の歴史的背景、中東国際交流の意義などについて、広く市民の皆さんに理解していただけるよう3回に分けてシリーズで紹介いたします。

「中東国際交流プロジェクトin京丹後」開催に向けて

Vol.1

ちや市民と触れ合うことで相互理解を深め、平和の大切さを共に認識・共有することにより、世界中の皆で幸福を豊かに育んでいく地域づくり・国づくりと、国と国の絆づくりに貢献していくことを目的としています。中東の子どもたちを招こうとした取り組みは、平成15年に初めて綾部市で実施され、その後も世界連邦宣言自治体全国協議会の支援のもと、岡山市、徳島市、亀岡市などでも取り組まれてきました。

市内で広がる交流活動

市内では、諸外国の人々との親善活動を通じて、広い視野と豊かな国際感覚を備えた人材の育成や、人やものが活発に交流し活力にあふれたまちづくりを推進するため、市国際交流協会(藤村益弘会長)が中心となり、さまざまな国際交流事業が取り組まれていきます。

パレスチナ問題とは?

今から3000年程前にユダヤ人はパレスチナ(イスラエル)に王政を築きました。そして、ダビデ王、ソロモン王の約80年間に最盛期を迎えます。

その後、北のイスラエル王国と南のユダ王国の2つに分かれます。イスラエル王国はアッシリアに滅ぼされ、ユダ王国はしばらく続きますが、やがてバビロニアに滅ぼされユダヤ人は奴隷として連れて行かれます。周辺諸国による征服、それに対する反乱を繰り返し、一時王政を復活させますが、紀元70年ローマによりエルサレムの第2神殿が破壊され、ユダヤ人の離散が始まります。

以後、1948年までの約1900年間、ユダヤ人は自分たちの国をもつことはありませんでした。ユダヤ人が世界に散っていた1900年の間、パレスチナ(現在のイスラエルが存在している土地)には当然ユダヤ人以外の方が住んでいました。もちろんユダヤ人の中にも離散せず、そのままパレスチナに住み続けた人も少数存在しましたが、人口割合としては小さいものでした。

19世紀以降、ヨーロッパにおいてマイノリティー(少数民族)として迫害されてきたユダヤ人が新天地を求めてオスマントルコ領内のパレスチナに入植し始めました。入植したユダヤ人は1948年にイスラエルの建国を勝ち取りますが、このために多くのパレスチナ人が難民化してパレスチナ問題が発生しました。

一言で言えば、パレスチナ紛争とは、



四国よりやや広い、パレスチナという現在イスラエルが存在している土地をめぐる領土問題です。1900年のあと、かつて自分たちの先祖が暮らしていたと思われる土地に移り住んできたユダヤ人と以前から暮らしていたパレスチナ人との土地争いということです。

(出典:「誰にでもわかるパレスチナ問題」)

昨年度は、京都府内の大学に通う留学生のホームステイ受け入れ事業や国際理解啓発のための教室、また在住外国人が暮らしやすい環境整備

のための日本語教室の開催などが行われています。また、友好都市提携の協定を結んでいる中国安徽省亳州市とは相互の交流をしており、昨年度は亳州市から学生訪問団が訪れ、市内中学生との交流を深めました。

企画画策課
☎69・0120

丹後の美しい自然、風景、伝統文化などが、農業と農村に果たす役割を再認識し、この環境を次世代へ引き継いでいくために、府土地改良事業団体連合会丹後支部（弥栄町吉沢）が写真コンクールを実施しました。

全応募作品48点の中から入選した作品を撮影者のコメントとともに紹介します。

撮…撮影者 場…撮影場所

【お知らせ】

丹後の農ある風景として、6月12日～22日に「ゼスト御池」（京都市中京区）にて、第1回～12回までのコンクール入賞作品約40点が展示されます。

金賞

『水と仲よし』

撮 小北 健一さん（峰山町石丸）

場 弥栄町黒部

水とのふれあいがいい。



銀賞

『白い恋人たち』

撮 飯室 正吾さん（久美浜町佐野）

場 久美浜町市場

昨年から久美浜で愛を育んだコウノトリ。このペアから3羽のヒナが誕生し、巣立ててゆきました。



銅賞

『里芋を掘る老婦』

撮 荻野 博さん（峰山町荒山）

場 峰山町荒山

嫁いだ娘や孫を思い

「宅急便で送ってやろう」…



【撮影者のコメント】

.....特別賞..... 『今日も一日お疲れさま』 陽も大分傾き、千枚田の畦道を家路に向かう女性、補植の仕事も大変ですね。お疲れ様… 『素晴らしき農業体験』 秋空の似合う元気な娘さんたちでした。 『手間を惜しまず』 そばを手刈りして天日干しする昔ながらの手法。手間を惜しまない姿に感動しました。

.....入選..... 『漬け物』 おいしく漬かります様に願っています。 『私もお手伝い』 小さな手で父さんと一緒に田植えのお手伝い。 『棚田の夕景』 海の漁火と棚田の夕景がすばらしいです。 『子供のまつり』 「こどもの日」 元気な子供達が菖蒲をほり上げて豊作を祈る伝統行事。 『海が見える棚田』 ここは袖志の棚田。学生たちは海を見下ろしながら黙々と田植えを進めた。

入選

『漬け物』

撮 谷口 巖さん（久美浜町永留）

『私もお手伝い』

撮 藤村 真一さん（峰山町丹波）

『棚田の夕景』

撮 前平 照雄さん（豊岡市下陰）

『子供のまつり』

撮 家城 安久己さん（久美浜町箱石）

『海が見える棚田』

撮 坪倉 義英さん（弥栄町鳥取）

素晴らしき農業体験

丹後町袖志



手間を惜しまず

弥栄町須川



特別賞

『今日も一日お疲れさま』

撮 本台 達雄さん（舞鶴市南田辺）

『素晴らしき農業体験』

撮 小倉 正紀さん（宮津市上上司）

『手間を惜しまず』

撮 金久 昌和さん（弥栄町溝谷）

今日も一日お疲れさま

丹後町袖志



漬け物

久美浜町永留



棚田の夕景

丹後町袖志



私もお手伝い

丹後町筆石



子供のまつり

久美浜町市野々



海が見える棚田

丹後町袖志



第13回 丹後「農業・農村」写真コンクール作品募集

「京丹後市の農業・農村」を基本テーマに、農業の営みや農業者の姿、暮らし、祭りの風景を収めた写真（作品）を募集します。ただし、京丹後市内で平成25年1月以降に撮影したものに限りです。

◆応募期間：6月10日（月）～12月26日（木）

◆応募に関するお問い合わせ

京都府土地改良事業団体連合会丹後支部事務局

☎0772-65-0012





まちのわだい

★ town topics ★



野間川源流探訪ツアー開催

「丹後の秘境」野間の自然を堪能

4月28日 弥栄町

弥栄町野間で4月28日、丹後半島中部を流れる野間川源流を探訪するツアー(野間連合区主催)が開催され、市内外から26人が参加しました。

ツアーは、野間地区公民館が昨年12月、野間川をテーマに今年のカレンダーを作成したところ、その景観を直接見てみたいとの声が多く寄せられたため企画されたものです。

出発式で藤原利昭野間連合区長は「きれいな川、自然を直接確かめてもらい、自然を守っていく力にしていきたい。そして、わずか50年前までこの地域にも人が暮らしていたという事実を体感してください」とあいさつ。参加者は源流近くのポイントを目指して約10キロ登り、清流に生息するアユやアマゴなどを観察したり、山肌を流れる滝の景観を楽しんだりしながら、野間の大自然を堪能。また、随所に集落や水田跡が残っており、地域のインストラクターから廃村の経過などについて説明を受けていました。

京都市内から参加した大学院生の佐々木俊文さんは、「困難な道のりだったけど、上流へ向かうにつれて、川の様子が変わっていくのが面白かった。今度は個人的に写真を撮りに来ます」と話していました。



▲足元に気を付けて、源流を目指す参加者たち

コウノトリのヒナ5羽がすくすく

「ハベえ」と「コウちゃん」が懸命に子育て 4月~5月 久美浜町

久美浜町永留で営巣しているコウノトリの「ハベえ」(オス)と「コウちゃん」(メス)のカップルが、このほど、5羽のヒナを孵しました。同カップルは放鳥2世同士のペアで、昨年は3羽のヒナを孵し、無事、巣立ちさせています。

コウノトリは、1日に約500グラムのエサを必要とするほどの大食漢のため、親鳥は子どもたちのエサ探しに奔走。育ちざかりのヒナたちは、カエルや小魚などを与えられて、すくすくと成長しています。5羽のヒナたちは、順調にいくと6月下旬から7月にかけて巣立ちを迎えます。



▶父親の「ハベえ」からエサを受け取る5羽のヒナたち(5月13日午前9時46分撮影)

子宝願いの「のぼり立て」

今年も2組の新婚家庭に

5月4日 大宮町



▲バケツやほうきなどの日用品をつるしたのぼりを立てる

大宮町三重地区で5月4日、100年以上も前から同地区に伝わる奇習「のぼり立て」が行われました。

この風習は、新婚夫婦の子宝を願って行われるもので、今年も糸井潤さん、慶子さん夫妻と糸井勇喜さん、幸美さん夫妻の2組の家の前にのぼりが立ちました。

のぼり立ては夜間に行うのが習わし。約10メートルのぼりに地元住民らがバケツやほうき、自転車など身近な日用品を持ち寄りくりつけました。翌朝、新婚夫婦は地元住民らと共にのぼりを下ろし、くられた品物を持ち主に返却しながら地域にあいさつをして回り、親交を深めていました。



▲のぼりを見上げる糸井勇喜さんと幸美さん

「大きな穂をつけて、おいしく育て」

橘小児童が田植え体験 5月15日 網野町



▶30センチほどの間隔を開けて、丁寧に苗を植える橘小の児童たち

橘小学校(網野町)5年生16人が5月15日、学校近くの水田で田植え体験を行いました。地元の産業を知ったり、食べ物を大切にすることを育んだりすることを目的に、同校で毎年取り組んでいるものです。

児童たちの大多数が、生まれて初めての田植えとあって、校区内の兼業農家、今井定示さんから苗を手で植える「手植え」のいろはを事前学習。児童たちは、恐る恐る田に入り、足を取られながら約100平方メートルの水田に苗を植え付けました。

田植えを終え、西川寧音さんは「大きな穂をつけて、おいしく育ててほしいです。稲刈りが楽しみです」と話していました。

観光客をきれいな浜でお出迎え

地元区民ら立岩周辺のゴミ8tを回収

4月28日 丹後町

丹後町の観光スポット「立岩」周辺で4月28日、地元区民らによる清掃活動が行われました。

春の行楽シーズンを迎え、京丹後を訪れた方に気持ち良く観光を楽しんでもらおうと立岩周辺清掃実行委員会(間人区・竹野区連合区・豊栄連合区などで構成)が企画し、平成22年度から実施。今年で4年目を迎え、今回が5回目となります。

この日、約120人が参加し、ペットボトルやビン、葦、流木など約8トンのごみを1時間半かけて回収しました。毎回清掃活動に参加している住民からは「ポイ捨てはやめて、必ずごみは持って帰って」「竹野川上流からのごみがたくさん流れてくるので、流域の人も清掃活動に参加して」などと協力を呼び掛けていました。

同会では、海水浴シーズン直前(6月30日)にも清掃活動を予定しています。

▶立岩(写真左上)周辺の清掃を行う実行委員会のメンバーたち



▶陸前高田市に向けて送る書籍を梱包(こんぼう)する生徒たち



府立峰山高校の生徒がこのほど、東日本大震災の復興支援として「陸前高田市図書館ゆめプロジェクト」(※)に参加し、陸前高田市(岩手県)に向け書籍など3579冊を送りました。生徒たちは、これまでもステンドグラスや手作りの髪飾りを被災地にプレゼントしたり、現地でボランティア活動に従事したりして支援を続けてきました。

今回の取り組みは、生徒会執行部のボランティア委員が中心となり、本年2月から生徒や保護者、地域住民たちに書籍の寄贈を呼びかけたものです。

執行部ボランティア局長の田中大貴君(3年)は、「少しでも何か支援できないかと思っていたので、プロジェクトに参加できてよかった。図書館が建つまで道のりは長いけど、最後まで協力していきたい」と話していました。

同校では、今後も被災地の復興支援に向けて同活動を続けていくこととしています。

(※)陸前高田市が主催し、津波で流された同市の図書館を再建するプロジェクト。全国各地から不要になった古本などを集めて現金に換え、その金額を寄付として受け取り、再建費用に充てるもの。

峰山高生が復興支援で書籍を送付

2月~4月 峰山町

お口の健康は元気の秘訣

定期的に受診して口の中をチェックしましょう



今回は、歯と口の健康づくりと身体の健康との関係について、久美浜病院の堀医師に聞きます。



文 市立久美浜病院
診療部長
歯科口腔外科部長
堀 信介

健康な生活に「噛む」ことは不可欠

皆さんは、「京都府歯と口の健康づくり推進条例」をご存知ですか。この条例は、歯と口の健康づくりを推進することで、府民の皆さんの健康を保持、増進することを目的に、昨年12月に施行されたものです。

歯と口の健康を保つことは、しっかり噛むことができる基本であり、健康で豊かな生活を送る上で必要不可欠です。「噛む」ことは、子どもの健やかな成長を促すことや、脳の発達や認知症予防に寄与するだけでなく、肥満を防ぐ効果もあります。噛み合わせが悪くなると、顎が痛くなり（顎関節症）、頭痛や肩こり、めまいなどが起こることもあります。

歯の喪失原因1位は「歯周病」

成人の歯の喪失原因第1位は歯周病で、30歳以上の約8割の方が罹患しているといわれています。歯周病の初期は無症状で、進行すると歯がぐらつき、抜歯に至るケースも多いです。

歯周病の原因となっているのは「口腔細菌」で、妊産婦の低体重児出産リスクを高めたり、糖尿病を悪化させたり、また高齢者の誤嚥性肺炎の原因になったりもします。

さらには、日々体内の血管を慢性的に攻撃し、脳出血や心疾患を起こしやすくなることが分かってきました。

これらを予防するためには、日頃から正しい歯磨

きを習得して、口の中を清潔に保つことが大切です。定期的に、かかりつけの歯科医で歯周病のチェックを受けることをおすすめします。

手術前の歯科治療で早期に退院

近年では、病院で心臓や癌などの手術を受ける前に、虫歯や親知らずなどの口の中の病気がないかを検診し、治療を終えてから手術を受けるシステムが全国的に普及しています。このシステムは、手術後に体力や免疫力が低下する患者が多いため、術前にむし歯や歯周病などの感染源を取り除き、肺炎などの合併症が起こるリスクを低下させるものです。

このように、手術前後（周術期）の口腔機能管理を行い、口の中を清潔に保つことで、早期に経口摂取（口からごはんを食べる）が可能となり、栄養状態が改善します。この結果、創部の治癒が促進されて入院期間の短縮につながると言われています。

6月4日は「むし歯予防の日」

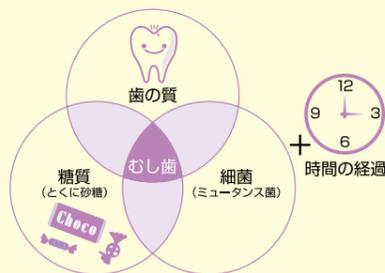
6月4日はむし歯予防の日。また、6月4日から10日までは「歯と口の健康週間」です。

これを機に、むし歯の治療を始めたり、かかりつけの医院で上手な歯みがきの仕方を訪ねたりしてはいかがでしょうか。

皆さん一人一人が口腔と身体の健康の重要性を改めて考え、自ら歯と口の健康づくりに取り組むことが大切です。



むし歯の原因と予防法



むし歯の原因は「細菌（ミュータンス菌）」「歯の質」「糖質」の3つ（左図）。この3つの要素が重なると、時間の経過とともにむし歯が発生します。そこで、これらの要素が重ならないよう、次の方法で予防しましょう。

- ① 歯磨きによって細菌を減らす。
- ② むし歯菌の養分になる糖分を減らす。
- ③ フッ素を上手に活用して歯の質を強くする。
- ④ 歯が酸にさらされる時間を減らす。

フォトピックス 山登りで新緑を体感

地元の山に登って、新緑と絶景を楽しもう

京丹後市には20を超える山があります。それぞれの山は、「まちのシンボル」として、四季の彩りを見せてくれます。新緑の季節、山の空気を吸ったり、絶景を見たりして山登りを楽しんでみませんか。今回は、数ある山の中から各町1つずつご紹介

介。初夏の陽気に、山登りにでかけましょう。<山によっては、急こう配などの難所があります。事前にコースを確認し、無理せず登りましょう。また、クマ、イノシシ、ハチなどにも十分注意してください>（問・観光振興課 69-0450）



今月の表紙・入江和子さん



峰山町
磯山 (661m) 歩行時間・往復 90分
道のり・往復 2.3km
登山口・乙女神社から山側へ約4km「羽衣茶屋」付近



丹後町
依違ヶ尾山 (540m) 歩行時間・往復 120分
道のり・往復 2.9km
登山口・成願寺清水交差点から矢畑方面に約4km先



大宮町
大宮山 (702m) 歩行時間・往復 120分
道のり・往復 2.8km
登山口・大宮町五十河、ブナハウス内山



弥栄町
金剛童子山 (613m) 歩行時間・往復 120分
道のり・往復 4.8km
登山口・弥栄町味土野、細川ガラシャ夫人の碑付近



網野町
網野山 (285m) 歩行時間・往復 140分
道のり・往復 8km
登山口・網野町下岡、消防車庫付近



久美浜町
高野ヶ尾山 (696m) 歩行時間・往復 140分
道のり・往復 4.4km
登山口・たんたんトンネル出口（耐ヶ畑側）付近

※歩行時間や道のり、登山口の場所は、おおよその目安です

春の褒章
藍綬褒章（社会福祉功績）



川戸 和子 (丹後町此代)

【元民生・児童委員】

平成元年から21年間にわたり、民生委員・児童委員として、地域コミュニティの構築に尽力。また、京丹後市の「災害時の要援護者支援プラン」策定においては、要援護者の立場に立ち、意見の相違を調整して同プランに反映させるなど、地域の福祉向上に貢献し、その功績が評価されました。

京都府発明等功労者表彰
(創意工夫功労者)

株式会社積進(峰山町長岡) 製造部工作技術課 西坂 玲子 さん(24)



タブレット端末を手に、考案した電子マニュアルを紹介する西坂さん

加工機械の操作手順や、夜間・休日の当番への引き継ぎ内容などを、分かりやすくイラストや共通化した色・記号などで表示するタブレット端末用の電子マニュアルを考案しました。これにより、年間延べ約800時間かかっていた引き継ぎの時間が大幅に短縮され、年間数件発生していた引き継ぎミスの解消にも成功。また、誰が見ても分かるように表示することで、社員全体の技術の底上げが図られるなど、その創意・工夫が評価されました。西坂さんは、「先輩方の力を借りて試行錯誤しながら何度も改良を重ねてきました。成果に満足することなく、新たな挑戦を続けていきます」と話していました。

京丹後に想う Vol.8



「地域学・ガイド養成講座」で琴引浜を訪れた于さん(左端)と参加者

京丹後には魅力的な場所や歴史がたくさんあります。しかし、言語が違う外国人にはその魅力や歴史が伝わらないことがあります。外国人向けのガイドを養成すれば、さらに丹後の魅力を世界に発信できるのではないのでしょうか。去年、うちに新しい家族ができました。子どもにも私が学んだ京丹後の魅力を存分に伝えていきます！



于 漫 さん(31) 大宮町河辺在住

私は中国の大連出身です。大連には大きな港があり、世界各国と盛んに貿易が行われています。私の家から数分のところにも海があり、夏には多くの観光客がにぎわいます。平成21年3月、主人の仕事の関係で日本に来て1年間大阪で過ごした後、翌年、京丹後に引っ越してきました。こちらに来る前、主人に京丹後のことを聞いてみると、「田舎」「コンビニやスーパーが少ない」と言われ、不安な気持ちを抱えながらやって来ました。実際に住んでみると、主人の言うよう

在任外国籍市民の皆さんから投稿いただいた京丹後市への想いをシリーズでお届けします。

に繁華街や大きなスーパー、高層ビルはありませんが、新鮮な空気や透き通った川など、大阪に無いものがたくさんありました。一番驚いたのは出会う人がみんな挨拶をしてくれること。地元の方はとても親切で、抱えていた不安はすぐに解消されました。私たち外国人にとって一番困ったのは、やはり言葉の壁です。日本語能力検定2級を取得しましたが、まだ理解できないことがたくさんあります。こちらに来てからも、国際交流協会の開催する日本語教室に通って勉強を続けていますが、丹後弁が聞きとれるようになるのはまだまだ先になりそうです。平成23年7月には、丹後の歴史や文化、自然について学びたいと思い市地域再生協議会主催の『地域学・ガイド養成講座』に参加しました。講座では、琴引浜や稲葉本家を訪問。丹後町では、とび丸タクシーに乗り、真つ青な海の絶景を満喫しました。

第4回 平井嘉一郎作文コンクール



第4回平井嘉一郎文庫記念事業「作文コンクール」入選作文発表会・表彰式

平井嘉一郎文庫記念事業「作文コンクール」の発表会と表彰式が5月11日、アグリセンター大宮で行われました。コンクールに応募した大宮町内の小学校5・6年生128人の中から、入選した10人が作文を発表。この中から「ブナ林に勇気づけられて」と題し、大宮町にあるブナ林と白神山地のブナ林を対比しながら、厳しい自然

環境の中でも必死に生きようとするブナ林のたくましさを感じたことを表現した米田雅英君(大宮南小5年)の作文が金賞を受賞しました。米田君は「本当にうれしいです。発表は緊張したけど、学校や家で何度も練習をした成果が出せてよかったです」と受賞した喜びを話していました。



米田 雅英 君 大宮南小5年

銀賞は「勇気を持って行動できる人を目指して」を書いた岩間 唯さん(大宮第一小6年)、銅賞には「東日本大震災」で教えてもらった事を書いた、田中美織さん(大宮第一小5年)が選ばれました。コンクールは、

【入賞者の皆さん】
西垣太智君(大宮第一小5年) / 野村恵里さん(大宮南小5年) / 櫻井 楓花さん(大宮第一小6年) / 田村風さん(大宮南小6年) / 安田愛美さん(大宮南小6年) / 水口絵理奈さん(大宮南小6年) / 上田鈴葉さん(大宮南小6年)

みんなの声

- ▼市役所のケーブルテレビに市役所の各部長が登場して、行政の現状や当面の課題などを話す番組を企画してください。
- ▼また、議員や学校長、公民館長なども登場して、ケーブルテレビらしい番組づくりに心がけてください。市民にとって役立つ番組が一番です。経費をかけずに、市民の声を傾けて、少しずつ充実させてください。
- ▼市では、ケーブルテレビを活用し、市のイベント、講演会、学校行事などのほか、ご提案のように、行政の現状や当面の課題などを分かりやすくお伝えすることが重要と考えています。
- ▼市役所の業務案内や事業説明、各種公共施設などを紹介する番組を本年度から増やしていく予定とされています。また、その中で市職
- ▼木村次郎右衛門さんにはずっと長生きしてほしいです。健康が大切だと実感しました。新しい久美浜中学校について特集してほしいです。
- ▼久美浜町・20代・女性
- ▼我流フラダンスチーム「アラサ」の記事を拝見しました。子育てママさん、すごいな！と共鳴しました。写真の笑顔がみなさんとても素敵です！市内出身のママさんも参加されては…と思います。
- ▼弥栄町・50代・男性
- ▼網野町・50代・女性
- ▼網野町・60代・男性
- ▼網野町・60代・男性

「絆フェスタ」に600人



5月12日(日)、八丁浜シーサイドパーク(網野町)で「絆フェスタ」が開催され、子どもたちやその家族など約600人が参加。

▲巻き方を教わり、コマ回しに挑戦する子どもたち

スポーツで世代を超えて交流深める

初夏の青空の下、フットサルやビーチバレー、グラウンドゴルフなど12種目のスポーツのほか、コマ回しや輪投げなどの遊びが行われ、子どもからお年寄りまで一緒に競い合うなど、世代を超えて交流を深めました。

東日本大震災をきっかけに、地域の絆の大切さを再認識しようとNPO法人 網野スポーツクラブなどが企画したもので、今年が3回目。

開会式では、河田颯斗君(網野南小4年)、大坪旦君



▲世代を超えてサッカーを楽しむ参加者たち

(網野中2年)が「家族の絆・仲間の絆・地域の絆を大切に、大きな夢に向かって日々努力します」と力強く宣言。その後、参加者が互いに手をつなぎ「がんばろう東北」と声を合わせてエールを送りました。

女子40キ級 3位
男子58キ級 3位

JOC杯

全日本ジュニアレスリング選手権大会



JOCジュニアオリンピックカップ全日本ジュニア選手権大会が4月27、28日の両日、横浜文化体育館(神奈川県)で開かれ、網野高校レスリング部の伊藤駿君(網野高2年)と、網野町少年レスリング教室の田村生吹さん(大宮中1年)が3位入賞を果たしました。

伊藤君は「多くの課題が見つかった大会でした。もっと練習して課題を克服し、次のインターハイ予選では優勝を目指します」と話し、田村さんは「中学生になって初めての全国大会で、入賞できて嬉しかったです。次の大会では優勝できるようにもっと練習をがんばります」と意気込みがありました。

いのち
生命の絆
さずな

生まれてきてくれてありがとう

このコーナーでは、弥栄病院で赤ちゃん誕生の瞬間を喜びご家族の姿を紹介いたします。ご応募いただいたすべてのかたを掲載しています。どしどしご応募ください。詳しくは秘書広報広聴課「生命の絆」係まで ☎69-0110



小さい頃、大きな産声でした。元気に生まれてきてくれてありがとう！感動したよ。

安田 翔ちゃん(男の子)
4月生まれ・2,658グラム
母:抄頼さん 父:稔さん
(丹後町間人)

さどかえい



元気に産まれてくれてありがとう。お兄ちゃんと仲良くね。

松尾 咲汰ちゃん(男の子)
4月生まれ・3,338グラム
母:隼子さん 父:直樹さん
(京都市右京区/実家:網野町網野)

さどかえい



元気に、優しく、たくましく!! 家族3人一緒にゆくり楽しく成長していこうね!!

村上 琥珀ちゃん(男の子)
3月生まれ・3,098グラム
母:満里絵さん 父:翔一さん
(兵庫県西宮市/実家:網野町島津)

さどかえい



元気にうまれてきてくれて、ありがとう★これからヨロシクね★

水島 彩恵ちゃん(女の子)
4月生まれ・2,708グラム
母:恵子さん 父:秀行さん
(豊岡市出石町/実家:網野町網野)

さどかえい



生まれてきてくれてありがとう。これから家族4人仲良くしようね😊

石丸 寧々ちゃん(女の子)
4月生まれ・3,228グラム
母:友代さん 父:裕さん
(弥栄町黒部)

さどかえい



小さい頃一瞬生命にミルクを飲んでくれる大輔ちゃんママも力がもらえます。一步一步、糸着に色んな事の思い出をこーね。みんなの愛情もらってスワスワ大きくなあれ♡

吉浪 大輔ちゃん(男の子)
3月生まれ・2,276グラム
母:愛さん 父:和也さん
(弥栄町吉沢)



やと会えたね。ゴウちゃんが生まれてくる事をみんな楽しみに待ってたよ♡ スワスワ元気に育ってパパよりBIGな男になあれ!!

菜原 幸明ちゃん(男の子)
4月生まれ・2,778グラム
母:悠里子さん 父:祥行さん
(大宮町口大野)

さどかえい



明るく元気な女の子に!!

山下 柚希ちゃん(女の子)
3月生まれ・3,462グラム
母:真実さん 父:恭平さん
(峰山町新治)

さどかえい



無事元気に生まれてきてくれてありがとう。みんなが楽しくいっしょに遊ぼうね。

東中 柚稀ちゃん(女の子)
4月生まれ・3,260グラム
母:匠子さん 父:義治さん
(兵庫県西宮市/実家:弥栄町堤)

さどかえい



山陰海岸ジオパーク



▲世界審査では審査員が現地視察を行います(2010年丹後町にて)

「日本列島がアジア大陸の一部だった時代から、日本海が開き、現在に至るまでの経過とそれにかかわる人々の暮らしを確認できる地域」として2009年に日本ジオパーク、翌年にはユネスコが支援する世界ジオパークネットワークの一員として認められました。

再認定目指しジオパーク活動を推進

この「世界ジオパーク」は、4年に一度、再審査が行われ、世界ジオパーク委員会が、山陰海岸ジオパーク内の現地審査に訪れる予定です。

再審査に向け、さらに活動の充実を図り、市民の皆さんへの普及・啓発に取り組むとともに、他地域のジオパークとも連携を図りながら、ジオパーク活動を進めていきます。

(観光振興課)

ジオパークとは、科学的に重要で貴重な地質、化石、岩石、地形、温泉などの地質遺産を複数含む自然公園のことです。

山陰海岸ジオパークは、「日本列島がアジア大陸の一部だった時代から、日本海が開き、現在に至るまでの経過とそれにかかわる人々の暮らしを確認できる地域」として2009年に日本ジオパーク、翌年にはユネスコが支援する世界ジオパークネットワークの一員として認められています。

来年、世界ジオパークの再審査があります！

市ではこれまで、ガイド養成や小学校での学習活動など、さまざまな活動に取り組んできました。また、地域の団体でも海岸清掃などの保全活動や、ジオパークを活用した商品開発、遊覧船の運航など、ジオパークに関わる活動が実施されています。

京丹後市の文化財 86

仲禅寺仁王尊像

(網野町仲禅寺)



▲仲禅寺の仁王門両脇に立つ金剛力士像(左・吽形、右・阿形、仲禅寺区所蔵)

仲禅寺は、丹後分国と同じ1300年前の和銅6年(713年)に創建されたと伝わる古いお寺です。もとは大きなお寺であったようですが、永禄6年(1563年)に火災に遭い、現在は吉祥院という小さなお堂と仁王門が残るのみです。仁王門には、高さ2.7メートルの金剛力士像(仁王尊像)が両脇に立っています。

制作年代・作者が分かる金剛力士像

文明13年(1481年)年に縁城寺(峰山町橋木)の僧侶(頼舜)が書いた墨書がありました。それによると、都の仏師であった院勝が造ったことが分かりました。なお、口を開いた阿形は、後に火災で焼けてしまい、宝暦9年(1759年)に今の像が造られました。

以上のように仲禅寺の金剛力士像は、制作年代や作者が分かる貴重な像である点が評価され、昭和54年1月23日付で網野町指定文化財(工芸)に指定され、平成16年の京丹後市発足に伴い市指定文化財となっています。

※詳しくは、現在発売中の京丹後市史資料編「京丹後市の美術」をご覧ください。(本号4ページに関連記事)



Pick-up

「丹後発見!スナップラリー」丹後の「ええところ」を満喫

参加者が市内を巡りながらさまざまな体験をする観光ツアー「ええところ」で丹後発見!スナップラリー2013(市商工会青年部主催)が4月20、21日の両日、1泊2日の日程で開催され、府北部以外の地域から14組47人が参加しました。



▲参加者・スタッフ全員で記念撮影

住む18歳~50歳をターゲットに、通常の観光旅行では味わえない体験や思い出づくりを通して、新たな京丹後ファンを獲得するとともに、観光誘客につなげることを目的。平成22年から実施しているもので、今年で3回目となります。



▲地元住民に道を尋ねる参加者



▲丹後ちりめんの着物をまとう参加者と青年部員



▲笑顔でミッション達成を報告する参加者

「農家で巨大トラクターを乗りこなせ」「丹後ちりめんの着物を身にまとい、京丹後の「景色」「人」「体験」「食」に関するさまざまなミッションを達成するため、地元住民に尋ねたり、観光スポットを訪れたりして市内各地を巡りました。ミッションの達成を写真で報告するとポイントが与えられ、成績優秀者には旅館宿泊券などが贈られました。

市長インタビュー 和氣泰来(15)



先日、「30歳の成人式 in 京丹後」が榑田実行委員長はじめ本市内外に居住されている本市出身の30歳の若者達自身の手作りで、本市で初めて開催されました。

わかもの〴〵の情熱と輝きで創るまちづくり

「30歳」は、概して多くの人が仕事の中では部下が、私生活では新たに家庭ができて始め、社会人としての「責任」や「覚悟」が改めて求められる時期、さらに、責任と覚悟が持てるなら社会の中でいろんな新しいことに挑戦したり創造できるんだ、と

一方、概ね60歳以上の皆さんが、いきいきと仲間づくり、楽しみづくり、健康づくりを深めていただき、生活の喜びや味わいをより深く豊かなものにしていただくために、本年度から「京丹後市高齢者大学」を開校させていただきます。

よく言われますように、どんな年齢の皆さんにとっても毎日



▲記念写真を撮る30歳の成人式参加者たち

人生の中で一番若い日。いわば毎日がわかもの〴〵の情熱と輝きで、生涯現役の活躍を糧と礎にされた滋味あふれるわかもの〴〵の地光りするような輝きで、生涯現役の活力にますますあふれるまちづくりを育んでいきたい。世代を越え生涯を通じて、人と人づくりを大切に。まちづくり。世代を越え、わかもの〴〵の情熱と輝きで新しい時代の豊かな京丹後を一步一歩創りあげていきたい。

京丹後市長 中山 泰

図書館だより

- ◆開館時間 / 10時～18時 (峰山・あみののみ水曜は19時まで)
◆貸出 / 1人20点まで・2週間
◆図 / 峰山図書館 (☎ 62-5101) 大宮図書室 (☎ 69-0672)
あみの図書館 (☎ 72-4946) 弥栄図書室 (☎ 65-2101)
久美浜図書室 (☎ 82-1771) 丹後図書室 (☎ 69-0664)

6月図書館カレンダー
日 月 火 水 木 金 土
2 3 4 5 6 7 8
9 10 11 12 13 14 15
16 17 18 19 20 21 22
23 24 25 26 27 28 29
30 31 2 3 4 5 6



季節のようにバトンタッチ!

季節も春から初夏へバトンタッチ! 今年の春は花粉に加え、PM2.5も気になる春でしたね。自然いっぱいの丹後の空気を汚さないでほしいものです。

さて、海あり山あり町ありの京丹後市には現在225の地区があり、約6万人の方がそれぞれの地区で生活されています。そこでみなさん! 今暮らしている地区にどんな歴史や伝統があり、今何を頑張っているのかなどをご存知でしょうか? 知らないという方はこちらをチェック!

ご自身の地区はもちろん、その他の地区もご覧ください。地区は分かれていても京丹後は一つですからね。FMたんごでは、宮川優の「たんごモーニングサンド!」内で週1回のペースで地区を紹介しています。最近では、紹介する前に地区を訪れ、私のレポートも交えてお届けしています。初めて訪れる山あいの地区は、まさに未知の世界。全てを回りたいのはヤマヤマですが、京丹後市は広いですね。人口も1,000人を超える中心地区もあれば1ケタの山間

宮川 優 (みやがわ ゆう)
京丹後コミュニティ放送・局長。FMたんごメインパーソナリティー。朝の情報番組「たんごモーニング・サンド!」(7:00~8:58)を担当。年間を通してイベントMCや各ナレーションにも多数出演



地区もあり、中には移住された方が支えているという地区まであります。でも、共通しているのは「地区を盛り上げ、次世代へつなげたい」という思いではないでしょうか。こうした熱い思いを、季節のように次世代にバトンタッチして、京丹後を盛り上げていきたいですね! これからも京丹後の隅々まで皆さんに知っていただくため、優は駆け回りますので、ぜひ聞いてくださいね (^_^)

市政情報番組 FMたんご FM79.4 曜

●京丹後市からのお知らせ
月～金 7:53～7:58、13:00～13:05、16:54～16:59



今月のおすすめ

ボクも、川になって



海から生まれた「水のたまご」は雲になり、雨になる。そして、あらゆる生き物のなかを流れて、いつか海へとそそぐ。水が育むいのちを伝えます。水がからだのなかを流れてボクも川になる。



里見 喜久夫/文
牛島 志津子/絵
ダイヤモンド社

本の声を聴け



「本棚の編集者」“ブックディレクター” 幅允孝。彼が本を並べると本が輝き出すという。病院やレストランなど彼が手掛けた本棚、本との偶然の出会いを生み出す彼の仕事を紹介しています。



高瀬 毅/著
文藝春秋

読み聞かせボランティアを募集!

図書館(室)では、子どもたちにおはなしの楽しさを伝えるため、「絵本の読み聞かせ会」や「お楽しみ会」を開催しています。

このような事業に協力していただける読み聞かせボランティアを募集しています。未経験の方でも大歓迎です。絵本や読み聞かせに興味のある方は、希望する地域の図書館(室)までご連絡ください。



絵本の読み聞かせは大人気。みんな真剣に聞いています

大宮図書室で「紙トンボ」作り

大宮図書室は4月27日、「紙トンボであそぼう」と題した、工作教室を開催しました。

子どもたちは、講師の深田和幸さんから作り方を教わりながら紙トンボ作りに挑戦。最初はうまく飛ばせなかった子どもたちも、飛ばし方を教わったり試行錯誤したりしながら、上手に飛ばしていました。



自作の紙トンボを飛ばす子どもたち

広報クイズ



今月号の記事の中からクイズを出題します。全問正解者の中から抽選で5人に図書カード500円分をプレゼント!

- 問1 京丹後市高齢者大学の創設で「生涯〇〇のまちづくり」
問2 大宮町三重地区で子宝願い「〇〇〇〇立て」
問3 地元の〇に登って、新緑と絶景を楽しもう

応募方法

はがきに ①クイズの答え(〇の中に入る数字や文字) ②住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤電話番号 ⑥広報紙の感想やイラスト、取り上げてほしいテーマなどをご記入の上、秘書広報広聴課まで(宛先は裏表紙を参照)。なお、お寄せいただいた感想やイラストは広報紙に掲載することがあります。※⑥の項目も忘れずにご記入ください。

応募締切

6月14日(金) 当日消印有効。当選者の発表は7月号のこのコーナーで。

5月号の答え

問1...116 問2...あおまつ 問3...茶道

5月号当選者

堀英子さん(大宮町)、田家冬虎さん(丹後町)、間芝孝則さん(弥栄町)、田中静さん(久美浜町)、金久八重子さん(弥栄町)
応募総数34人、全員正解でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

京丹後市国際交流協会



5周年記念パーティーを開催

今年で発足5周年を迎えた市国際交流協会では、これまでの活動を振り返るとともに今後の取り組みにおける一層の充実を図ろうと、4月27日、5周年記念パーティーを開催しました。
式典には、ベトナムや韓国、中国、フィリピン出身の会員56人を含む約70人が参加。藤村会長が「今日から新たなスタート。外国籍の皆さんと共に地域をつくらせていこう」と国籍や年齢、性別を超えた多文化共生のまちづくりの推進を呼びかけました。このほか、5年間の活動を振り返る映像の放映や中国の伝統楽器「二胡」の演奏、フィリピン出身会員によるフィリピン国歌の斉唱が披露されるなど、参加者が交流を深めました。

navi navi navi navi navi navi navi

市職員人事異動

新規採用 [5月1日付]

久美浜病院
<<診療部内科>>
医師 山本 真弓

交通事故に注意を

府内で交通事故が多発しています。安全運転を心掛けましょう!



▲モニターツアーで丹後町を訪れる参加者たち



▲記念シンポジウムで基調会談する宮川大助さん(写真右)



「宝くじ助成」を活用して丹後建国1300年事業を実施

平成24年度に宝くじ助成事業を活用し、丹後建国1300年記念事業として、昨年11月に著名人を招いた記念シンポジウムを開催しました。また、3月には丹後建国1300年の歴史・伝説ウォークとしてモニターツアーを実施しました。
この助成事業は(財)自治総合センターが行っているもので、宝くじを使った社会貢献事業のひとつ。地域の健全な発展と住民福祉の向上を目的に、地域振興事業に対して行っているものです。
助成を受けた両イベントでは、多くの参加者が丹後の歴史と文化などについて学びました。



若者・ゆさ者・ばか者がまちをかえる



若さあふれるひと・地域のみさを発見してくれる人・ひとつのことに夢中に打ち込むひと



kyotangojin

「花ネット丹後」会長

よし い ひさ こ
吉井 久子 さん(78)
丹後町久僧



花作りへの思いを語る吉井さん(久僧地
域を通る国道178号沿いの花壇で)

花づくりで広がる

おもてなしの環

「人にやさしい、環境にやさしい花いっぱい
の町づくり」をスローガンに、丹後町の
海岸線(国道178号)や地域に花を植え、
丹後を訪れる人たちをもてなしているボラ
ンティア団体がある。「花ネット丹後」(吉
井久子会長)。今年4月、「平成25年緑化推
進運動功労者」として内閣総理大臣表彰を
受けるなど、活発な活動を続けている。吉
井会長に、花の魅力を聞いてみた。

◆ ◆ ◆
花ネット丹後は、平成4年、此代ふれあ
い会(会員24人)としてスタート。観光客
をもてなすため丹後町此代地区の住民たち
が中心となり、国道178号沿線にマリー
ゴールドを植えたのが始まりだ。平成9年
8月には建設大臣の感謝状を受けるなど、
精力的に活動を続けていた。

此代地区の活動が周辺地域にも広
がり、久僧、袖志などでも同様の取
り組みが始まった。当時は、ボランティ
ア団体が少なく、無償であることへ
の抵抗感がある会員もいたというが、
吉井さんは「人をもてなす花、心を
和ませる花をつくるためには、一から
手作りして自分たちの子どものような
に育てることが大切」と、あえて手
間を掛け、土作りから始めることを
提案。府の農業改良普及センターの

指導を受け、基礎から花作りを学んだ。

平成17年には此代、久僧、筆石、袖志の
4地区のグループが合併し「花ネット丹後」
を創設。現在は、さらに竹野、向地地区と
ラベンダー畑の会、丹後町婦人会の4グル
ープが加わり会員数170人の団体となった。
会員たちは、国道沿いに花を植えて観光
客をもてなすという当初からの取り組みに
加えて、学校や福祉施設に育てた花をプレ
ゼントしたり、福祉施設の園芸教室で指導
したりして、花作りや景観作りに携わって
いる。育てる花の種類や数も年々増え続け、
現在は20種類以上。一年を通して、2、
3万本の花を咲かせている。

◆ ◆ ◆
会員の大半は60〜70歳代。高齢化に伴い、
力仕事は満足にできないこともあるという
が、花作りの活動が新たな交流のきっかけ
づくりにもなっている。仕事ができない梅
雨時期や冬季には、メンバーが食べ物を持
ち寄ってホームパーティを開くなど、プラ
イベートでも交流。自宅の花壇の話から活
動内容まで、話は尽きない。一人暮らしの
会員にとっては、特に楽しいひとときだ。

「花は、手を掛けるほどきれいに咲いてく
れます。育てた花をみんなに見てもらって、
喜んでもらうことが最高の喜びです。花か
ら大きなパワーをもらっています」と目を
輝かせる。「花作りに携わっていると、身も
心も若くいることができますよ」といきい
きとした表情で話す吉井さんには、大きな
笑顔の花が咲いていた。

つぶやき

▼皆さん、表紙の印象はいかが
がでしたか?今号から、地域
の良さを「再認識」「発見」を
テーマに、読者の皆さんに「い
いね」って思ってもらえる風
景や瞬間を表紙写真で紹介し
ます▼今回は、新緑を楽しん
でもらおうと、内山ブナ林や
高竜寺ヶ岳を登り、数ある候
補写真から、内山ブナ林の王
様とも言える「大ブナ」を表
紙に選びました▼運動不足の
体には少々こたえましたが、
実際に足を運ぶことで、鳥の
さえずりや川の流れる音、空
気のおいしさなど、写真では
味わえない空間を感じるこ
とができ、とてもすがすがしい
気持ちになりました▼ぜひ皆
さんも、バーチャルの世界で
はなく、実物を観たり、体験
したりしてください。きっと
想像を超える楽しさが待つて
いますよ▼次号は「青」にち
なんだ何かを紹介する予定で
す。どうぞお楽しみに/樹

人口・世帯数

男 28,699人 (-36)
女 30,836人 (-62)
計 59,535人 (-98)

世帯数 22,538世帯(+28)
5月1日現在、カッコ内は前月比。
住民基本台帳(外国人含む)による。



振り込め詐欺にだまされないで!!

